

2025年度自己評価表【保育教諭】

A:そう思う、B:ややそう思う、C:あまり思わない、D:思わない

(%)

		項目	A	B	C	D	無
1	保育計画・環境	園のキリスト教保育の理念や教育・保育方針を理解し、保育・教育にあたっている。	29	68	0	0	3
2		保育計画は、教育目標を活かして作成している。	29	43	4	0	25
3		保育計画は教職員間で話し合いを行ない、子どもが主体的に活動できるような計画になっている。また、保育計画は必要に応じて見直されている。	46	25	4	0	25
4		屋内・外の保育環境を常に清潔に保ち、整理整頓を心がけ、安全で心地よい環境で保育ができるように努めている。	25	64	4	4	3
5		総合学院内にある園であることを活かし、学院内の施設や環境を活用している。	39	50	7	0	3
6		子どもの主体的な遊びの時間を十分に確保している	54	36	0	0	11
7	園児への関わりと保育者の役割	子ども一人ひとりの人格を尊重し、子どもの思いをに受け止めた保育を心がけている。	50	46	0	0	3
8		物事を強要するような言葉かけでなく、子どもにわかりやすい温かな言葉遣いで話をしている。	32	64	0	0	3
9		差別的なかかわりをせず、一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮したかかわりをしている。	71	25	0	0	3
10		暴力的な行動によって指示に従わせたり、指示に従わないことに感情的になり罰を与えていたりしていない。	86	14	0	0	0
11		子どもの発達段階や、興味・関心に応じた保育・教育を心がけている。	57	36	3	0	3
12		子ども同士の関わりの中で、様々な社会的ルールや人とのかかわりを身に付ける配慮をしている。	54	46	0	0	0
13	保護者との連携	保育の質の向上のために、研修会等に積極的に参加している。学んだことを自分の保育の中へ活かしたりするように努めている。	14	36	18	7	25
14		保護者に子どもの様子を丁寧に伝えることができている。	18	71	0	0	11
15		基本的生活習慣など子どもの発達を考慮し、家庭と連携し状況に応じて対応している。	29	46	0	0	25
16		保護者の子育ての悩みや相談、また寄せられた具体的な要望や意見に、適切に対応している。	18	53	4	0	25
17		園は保護者にお便りやホームページなどで園の情報を適切に伝えることができている。	50	36	4	0	11
18		園は未就園児に対して、園庭開放や園に関する情報を発信している。	32	43	0	0	25
19	地域連携との運営管理	園は地域の方に園の方針などに関心を持てもらい、理解していただけるように努め、地域の方々との交流を大切にしている。	21	36	14	0	29
20		それぞれの関係機関と連携を取り合い、情報を提供しあったり、指導してもらったりしている。	25	39	4	0	32
21		園児や保護者また同僚のことを園の外で話題にしない。（守秘義務の徹底）	68	18	0	0	14
22		保護者や地域の方など周囲の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	50	25	0	0	25
23		教職員間で、子どもに関する必要な情報や各対応マニュアル・ヒヤリハット等 情報・連絡事項を共有している。	39	39	4	0	18
24		事故災害時や感染症・アレルギー対応等のマニュアルを理解し、すぐに対応できるように備えている。	29	50	0	0	21
25		職場内は、仕事（保育や勤務等）について、相談できる環境にある	61	25	0	0	14

【回答数 28名】 【回答率100%】

A:そう思う 41% B:ややそう思う 41% C:あまり思わない 3% D:思わない 1% 無記入 14%

2025 年度自己評価表【職員系】

A:そう思う、B:ややそう思う、C:あまり思わない、D:思わない (%)

		項目	A	B	C	D
1		園のキリスト教保育の理念や教育・保育方針を理解して勤務している。	71	29	0	0
2		共に働く一人ひとりの人格を尊重すること、職場の環境を整えるなど安全で心地よい環境で勤務ができるように努めている。	100	0	0	0
3	園児への関わり	子ども一人ひとりの人格を尊重し、子どもの思いをを受け止めたかかわりを心がけている。	86	14	0	0
4		物事を強要するような言葉かけでなく、子どもにわかりやすい温かな言葉遣いで話をしている。	100	0	0	0
5		差別的なかかわりをせず、一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮したかかわりをしている。	100	0	0	0
6		暴力的な行動によって指示に従わせたり、指示に従わないことに感情的になり罰を与えていたりしていない。	100	0	0	0
7		子どもの発達段階や、興味・関心に応じた対応を心がけている。	71	29	0	0
8		園は保護者にお便りやホームページなどで園の情報を適切に伝えることができている。また、未就園児に対して園庭開放や園に関する情報を発信している。	86	14	0	0
9		園児や保護者また同僚のことを園の外で話題にしない。（守秘義務の徹底）	100	0	0	0
10	運営管理	保護者や地域の方など周囲の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	100	0	0	0
11		教職員間で、子どもに関する必要な情報や各対応マニュアル・ヒヤリハット等 情報・連絡事項を共有している。	71	29	0	0
12		事故災害時や感染症・アレルギー対応等のマニュアルを理解し、すぐに対応できるよう備えている。	71	29	0	0
13		職場内は、仕事（保育や勤務等）について、相談できる環境にある	100	0	0	0

【回答数 7 名】 【回答率100%】

A:そう思う 89% B:ややそう思う 11% C:あまり思わない 0% D:思わない 0%

自己評価公表シート(2025年度)

1. 本園の教育目標

「神と人から愛され、ただしい、明るい、元気な子ども」を育む。

2. 本園の教育・方針

- ◆ キリスト教主義による人間形成に重きをおきながら、0歳から就学前までの子どもに一環した教育・保育を行う。「神と人から愛され、ただしい、明るい、元気な子ども」になって欲しいとの願いをこめ、一人ひとりの子どもを大切にする教育・保育を進める。
- ◆ さまざまな環境を通して豊かな遊びの中で、創造性、自主性、社会性を育てる。
- ◆ 恵まれた環境の中で、全身を使った豊かな遊びから年齢に応じた「からだづくり」を行い、『食生活』を重んじ、基本的生活習慣を身につける。
- ◆ 友だちや保育者との関わりから、国籍・興味・発達など一人ひとりの違いを受け入れ、自分よりも小さな(人だけでなくすべてのもの)他者に対しても思いやりのある心を持つ子どもに育てる。
- ◆ 豊かな絵本との関わりを大切にし、様々な出来事の中で感じたり、考えたりしたことを素直に表現することができる子どもを育てる。

3. 評価により見えてきた現状と課題

- 自己評価を定期的に行うことにより、自分自身を振り返る機会になり、それぞれが課題意識をもって実践に臨むことができるようになるとを考えている。また園全体の課題にも目を向けることができ、それぞれの意識の向上に繋がっている。
- 教職員は、キリスト教の精神に基づき、子ども一人ひとりを大切にする保育に努めている。また、子どもの個性を理解し、個々にあった関わりをすることを心掛けている。

保育計画・環境	<ul style="list-style-type: none"> 園の理念や方針は職員全体に理解され、保育計画、実践に活かされていると考えられるが、理念・方針は根幹となるものなので、繰り返し共有し思いを一つにしていく必要がある。 子どもが主体的に遊ぶための環境を整えるよう心掛けているが、子どもの活動に合わせ保育計画を見直していくことも必要である。 子どもに経験させたいと思う活動についても、環境を通して興味・関心が持てるよう計画していきたい。また子どもたちが抱いた探求心や創造力を深めるための環境づくりに努めたい。
園児への関わりと保育者の役割	<ul style="list-style-type: none"> 保育者、職員は子ども一人ひとりを大切に受け止め丁寧な関わりをすることに努めている。 保育者(担任)は、キリスト教保育の理解を深めるため、チャプレンによる聖研や学びの機会を持つようにする。 子ども一人ひとりの個性を理解し、個々にあった関わり、保育計画を立てることを心掛けっていくようとする。 子どもの主体性を大切にし、一方的に教えることよりも体験をすることに重きを置いた教育・保育を心掛けている。 子どもの人格を尊重し、不適切な保育にならないよう努めている。またチェック表を活用してセルフチェックを行っている。 研修会等に積極的に参加し自己研鑽に努めているが、園内研修も含め保育者の質の向上に向けて学びの機会を得られるようにしていく必要がある。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の個人面談や学期ごとに保育参観を行い、保護者に来園してもらい子どもの様子を伝える機会を設けている。保護者のことばを傾聴するよう心掛け、思いを受け止めていきたい。 園からの発信としてクラスだよりやHP等を用いているが、基本は直接伝えることが大切であると考えている。今後もできるだけ、わかりやすく子どもの様子を伝えていくようにしたい。 子どもたちの育ちをとらえ、家庭と協力しながら、思い悩みながらも喜びをもって教育・保育に努めたい。
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 未就園児のための親子活動「こひつじの会」は、活動を通して子育て世代の保護者の交流の場となっている。今後も継続していくと共に、地域の中の子育て支援を担っていくようにする。 2025年度より、乳児等通園事業所「るーてる」を開始し、未就園児を対象に保育を行っている。保護者の育児相談や子育て支援の場ともなっている。 子どもたちの成長を支えるため、専門機関や関係機関との連携を継続していきたい。
運営管理	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりが、責任をもって職務にあたり、安全面や衛生管理を徹底することを心がけ、園児が安心して安全に園生活を送れるよう努めている。 職員が一度に集まることが難しいので、情報の共有を図るための工夫が必要。 職員会議、学年会議など状況に応じた話し合いの場をもち、職員間の連携を図るよう努める。 緊急時などの各マニュアルは職員間で共通理解し、スムーズな対応ができるよう訓練を行う。また、「理解していたつもり」を改める。場合によっては、マニュアルの見直しを行っていく。